

札幌国際芸術祭2014 Sapporo International Art Festival 2014

札幌市は、市民一人ひとりが創造力を発揮し、生活、文化、産業など様々な分野で創造的活動が展開されていく、「創造都市さっぽろ」の取り組みを進めており、2013年11月には、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市として認定されました。この「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業として、国際芸術祭を3年ごとに定期的で開催します。本芸術祭は、文化芸術がより一層市民の皆さんに親しまれ、心豊かな暮らしを支えるとともに、札幌の様々な資源を活かした次代の新たなライフスタイルやクリエイティブ産業を創出する機会であり、その都市の魅力の世界へ力強く発信していきます。

開催概要

■名称 札幌国際芸術祭2014 (略称: SIAF2014)

■テーマ・サブテーマ

《テーマ》「都市と自然」

《サブテーマ》「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」

歴史文化・風土、都市機能、地域経済や産業、暮らし方をアートの視点で見つめ直すことで都市と自然との共生のあり方を問い、市民の皆さんが自ら未来を展望する機会を創出する、従来の展示会の枠組みを超えた新しい形の芸術祭を目指しています。

■特徴

- 札幌国際芸術祭2014は、現代アートの展示会に加え、パフォーマンス/ライブやプロジェクトなど複合的な体験型アート・イベントです。
- 総合芸術監督は、ゲストディレクター制を導入し、ゲストディレクターが熟慮した開催テーマに従い、地域がホストとなって、共に国際芸術祭を作り上げていきます。

■ゲストディレクター 坂本 龍一

■開催期間

2014年7月19日(土)～9月28日(日) <72日間>

■主な会場

- 北海道立近代美術館
- 札幌芸術の森美術館
- 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
- 北海道庁赤れんが庁舎
- モエレ沼公園
- 札幌市資料館
- 札幌大通地下ギャラリー500m美術館 ほか

■事業数(平成26年3月13日現在)

- 主催事業20事業
- エキシビション…8事業
- アーティスト関連イベント…2事業
- パフォーマンス/ライブ…3事業
- プロジェクト…5事業
- 関連企画…2事業

【キービジュアル】



北海道立近代美術館



札幌芸術の森美術館



札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
撮影: 酒井広司



モエレ沼公園 ガラスのピラミッド

事業内容(主な事業を抜粋)

■エキシビション

美術館の企画展示をはじめ、札幌の街なかや歴史的建造物、公園を舞台にした様々な作品を展開する。

企画展示:「都市と自然」

北海道と日本の近代化の歩みを振り返りながら、これからの札幌と北海道の自然、都市のあり方、エネルギー、暮らしを見つめ直す企画展示

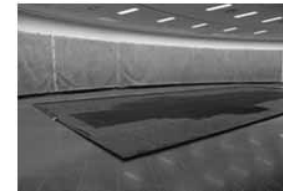
会場: 北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館
担当: 飯田 志保子<アソシエイト・キュレーター>



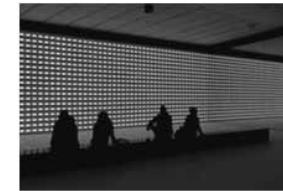
アンゼラム・キーファー (Anselm Kiefer)
<メランコリア> 1989
Photo: 山崎信一



栗林 隆 (Takashi Kuribayashi)
<参考作品>《ワルト・アウス・ワルト(林による林)》
Photo: Osamu Watanabe



岡部 昌生 (Masao Okabe)
<参考作品>
壁面:《雄別炭礦病院屋上遺構》2009
床面:《北海道炭礦汽船真谷地炭礦電力所遺構》199
Photo: 港千尋



カールステン・ニコライ (Carsten Nicolai)
<参考作品>
<unidisplay> 2012
Photo: Axel Schneider

●アーティスト関連イベント(映画上映)



アンゼラム・キーファーとソフィー・ファインズ
撮影: Anton Corbijn

SIAF2014 招待作品

「あなたの都市の上に草は生える」

原題: Over Your Cities Grass Will Grow

会場: 7月19日/北海道立近代美術館講堂
7月20日/北翔大学北方圏学術
情報センター「ポルト」

●アーティスト関連イベント(シンポジウム)



中谷 美二子 (Fujiko Nakaya)
<参考作品>
<Fog Sculpture #47636 “風の記憶”> 2013 豊田市美術館での展示風景
Photo: 谷川寛

SIAF2014 特別シンポジウム
「中谷 美二子:霧は語る」

日程: 2014年8月23日(土)
会場: 北翔大学北方圏学術
情報センター「ポルト」

チ・カ・ホ特別展示: センシング・ストリームズ (Sensing Streams)

自然や都市における情報の流れを感知し、可視化・可聴化していくメディアアート作品を展示

会場: 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) ほか
担当: 四方 幸子<アソシエイト・キュレーター>

その他、チ・カ・ホでは、以下の事業を実施

- 各種イベントの開催: 映像上映、メディアアート、短編映画などの多岐に渡るイベントやライブの開催
- 市民写真公募プログラム: テーマを設定して市民から写真を募集
- 学生などによるインスタレーション

真鍋 大度 (Daito Manabe)
<参考作品>
Rhizomatiks (pulse 3.0)
写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]
Photo: Ryuichi Maruo (YCAM)



進藤 冬華 (Fuyuka Shindo)
<参考作品>
<物語を編む> 2014 Photo: Tony Corey
山川 冬樹 (Fuyuki Yamakawa)
<参考作品>
<Shibuya Water Witching> 2013

赤れんが特別展示「伊福部昭・掛川源一郎」展

アイヌ民族の暮らしや風俗、北海道の近代風景を捉えた掛川氏の写真展とゴジラの映画音楽で知られる伊福部氏の楽譜などを展示

会場: 北海道庁赤れんが庁舎



北海道庁赤れんが庁舎



掛川源一郎写真委員会



勇崎 哲史 1997

エキシビション

500m美術館企画展示「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」ー「時の座標軸」ー」

会場：札幌大通地下ギャラリー500m美術館
担当：端 聡〈地域ディレクター〉



伊藤 隆介 (Ryusuke Ito)
〈参考作品〉《Free Fall (自由落下)》2012
「イメージフォーラム・フェスティバル2012」での展示風景
(パークタワーホール/東京ほか)



上遠野 敏 (Satoshi Katono)
〈参考作品〉《奔愛 (pon Love)》2013
「旧住友別荘炭鉱ホッパー(三笠市)」での展示
風景Photo: yuki naka

坂本 龍一 + YCAM InterLab

「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー) in モエレ沼」

道内を始め、国内外の10か所あまりからの樹木から取得した生体電位を音へと転換し、シンフォニーとして体験できる音のインスタレーションの展示企画

会場：モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」



〈参考画像〉
坂本龍一 + YCAM InterLab
Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)
2013年
写真提供: 山口情報芸術センター[YCAM]

大竹伸朗「時憶／美唄」

大竹氏が北海道を移動中に発見した取得物で制作した作品を展示

会場：札幌市資料館



大竹 伸朗 (Shinro Ohtake)
《時憶／美唄》2013
Photo: 山本真人
©Shinro Ohtake

田島一成「SAPPORO PROJECT」

田島氏が撮り下ろした札幌や北海道の写真を展示

会場：札幌市内各所



田島 一成 (tajima kazunali)
Photo: tajima kazunali

パフォーマンス／ライブ

多彩な芸術表現の可能性を示すダンス、パフォーマンスのほか、ゲストディレクター自らが出演するライブなどを展開

高谷 史郎「CHROMA」

ダンス、音楽、映像など様々なジャンルのアーティストにより制作されたダンスパフォーマンス

日程：2014年7月26日(土)、7月27日(日)
会場：札幌市教育文化会館 大ホール



撮影: 福永一夫

Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet

「BABEL (words)」

坂本龍一自ら選定した日本初公演の2人の世界的な振付師によるコンテンポラリーダンス

日程：2014年8月22日(金)
会場：さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール 大ホール



Babel (words) © Koen Broos

Alva Noto + Ryuichi Sakamoto「S&S」

芸術祭の最後をかざる音楽とメディアアートの コラボレーション

日程：2014年9月27日(土)
会場：札幌市教育文化会館 大ホール



Alva Noto + Ryuichi Sakamoto

プロジェクト

参加・実践型のプロジェクト、国際公募企画など様々な形の参加型プログラムを展開

コロガル公園 in ネイチャー

不定形で起伏のある木の空間にメディアを使った仕掛けを設けた子どもの新しい遊びを生み出すことを触発する作品

会場：札幌市資料館



〈参考画像〉
コロガル公園 2012年
写真提供: 山口情報芸術センター[YCAM]

都市空間のサウンドコンペティション

都市の公共空間にふさわしい音の作品を募集し、芸術祭の期間中各会場に設置

会場：札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 札幌芸術の森美術館 など



対象施設

関連企画

坂本 龍一によるウェルカムサウンド

坂本氏が自ら制作するウェルカムサウンドを設置

会場：新千歳空港



新千歳空港

札幌市資料館リノベーション

アイデアコンペティション

札幌市資料館をより魅力のある施設として活用するためのアイデアを募集し、優秀なアイデアを期間中展示

会場：札幌市資料館

関連企画

SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト
資料館について、芸術祭期間中下記の活動の拠点として活用

会場：札幌市資料館

- インフォメーションセンター
- 市民交流サロン
- 情報発信基地となる編集局(瓦版などの発行)
- 芸術祭ドキュメント、アーカイブ展示
- 地域プロジェクト開発事業
- 資料館リノベーションアイデアコンペティション展示



札幌市資料館

連携事業

SIAF2014の開催の機運を高め、主催事業に留まらない広がりのある展開を図るため、様々な団体などが実施する事業との連携を図る。

- さっぽろふるさとの森植樹祭&育樹祭2014
- 札幌交響楽団第569回定期演奏会 ~伊福部昭生誕100年記念~
- 第9回札幌国際短編映画祭
- そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト など

その他全体としての取組

SIAF開催のため、下記の項目に取り組みます。

- 環境負荷低減の取組
- ボランティアスタッフの募集と育成
- ミュージアム及び地域間ネットワークの形成 など

さっぽろ天神山アートスタジオが5月下旬にオープンします

- 場所 札幌市豊平区平岸2条17丁目1-80(天神山緑地内)
- 開館時間 午前8時45分から午後9時まで
- 休館日 毎週月曜日
12月29日から翌年1月3日まで



●施設の機能

- アーティスト等が滞在しながら創作活動を実施
- アーティスト等と市民が、創作活動やワークショップ等で交流
- 札幌国際芸術祭や市内での展示等、市民が作品に触れる機会を創出

●施設の内容

- 交流スタジオ(A72㎡、B71㎡、C60㎡の3室):アーティスト等と市民との交流の場として使用。貸室として市民活動にも利用できる。
- 交流サロン:滞在するアーティストや利用する市民、公園を訪れた市民の憩いのスペース(無料)。
- 滞在スタジオ(A19㎡6室、B53㎡6室、C73㎡1室の13室):アーティスト等の滞在型制作の場

●事業展開

- 国内外のアーティストの招聘と地域との交流事業
- 滞在スタジオを使用するアーティスト等による市民を対象としたワークショップ、アーティストトーク等の実施

〈さっぽろ天神山アートスタジオ イメージ図〉

